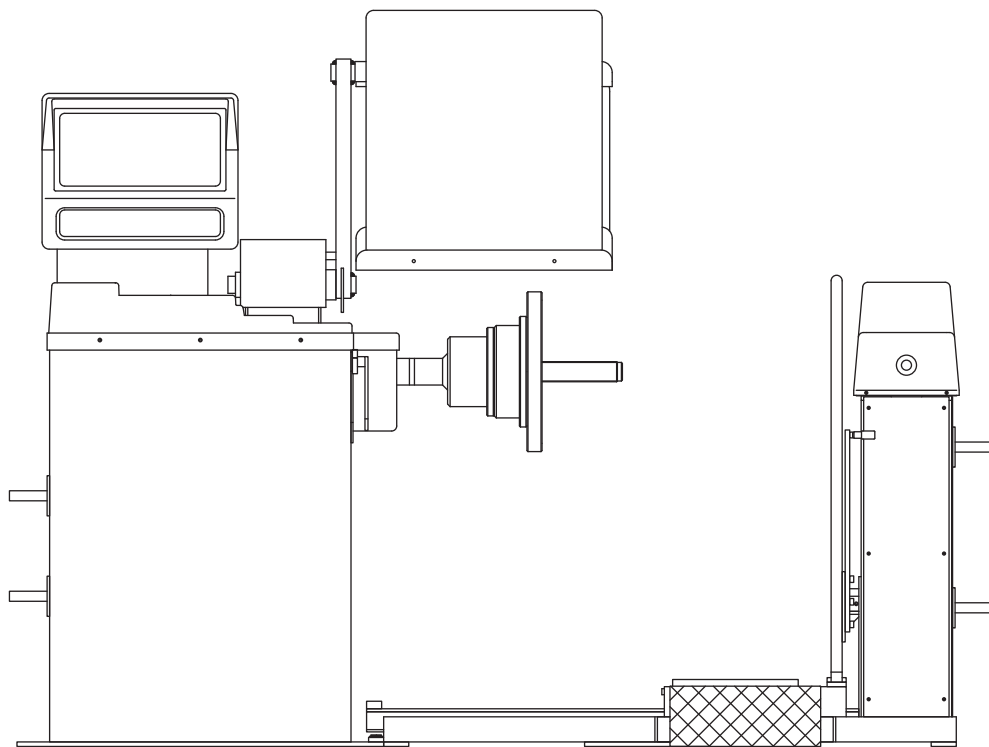


取 扱 説 明 書

COMPUTER WHEEL BALANCER

DYNAMAX

TBI型



※取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社まで請求してください。



警 告

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用してください。
この取扱説明書はいつでも使用出来るように大切に保管してください。



小野谷機工株式会社

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	2
(1) 警告ラベル貼付位置・内容	3
(2) 危険・注意事項	5
(3) 一般的な注意事項	6
(4) 設置上の注意	6
4. 各部の名称	7
(1) 本体部の名称	7
(2) 操作部の名称	8
5. 操作手順	9
(1) ホイールの装着手順	9
(2) 測定モードの切り替え	11
(3) データーの入力方法	12
(4) 測定	16
(5) 再演算機能	16
(6) ロック解除の方法	17
(7) F I N E モード	17
6. 標準付属品・オプション品	18
7. 定期点検	19
(1) 定期点検	19
(2) 消耗品	19
8. 故障と処置	19
9. 仕様・本体寸法	22
10. 製品保証規定	23
(1) 保証規定	23
(2) 保証請求方法	23
(3) アフターサービスについて	24
(4) 設置(据付)及び移設について	24

1. まえがき

この度は弊社の**ホイール balanser**をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

本機をご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読み、よく理解してからご使用下さい。

取扱説明書に記載されている注意事項及び使用方法をよくご理解いただかないと、適正な本機的能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので充分なご理解のうえ正しくご使用下さい。

尚、取扱説明書・注意ステッカー等は大切に ご使用して頂き万一紛失・汚損された場合は、速やかに購入のうえ、正しく保管・貼付して下さい。

2. 使用目的

このホイール balanser は大型バス・トラックのホイールバランスを測定、修正することの出来るホイール balanser です。

尚、オプション部品を取り付けることによって、ライトトラック・普通乗用車のホイールバランスの測定、修正が可能です。

3. 危険・警告・注意事項



警 告

この取扱説明書では「危険」「警告」「注意」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事柄が記載されていますので、必ず理解してからご使用してください。



危 険……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警 告……取扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



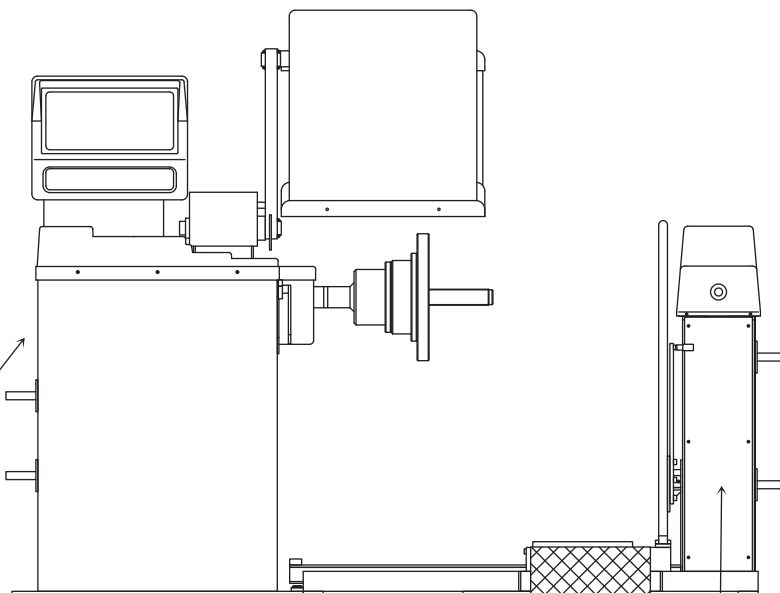
注 意……取扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

(1) 警告ラベルの貼付位置・内容



注 意

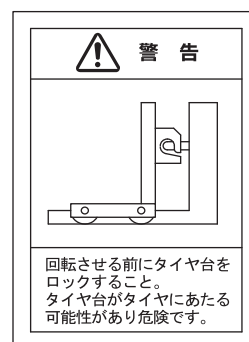
警告ラベルは大切に使用してください。剥がれたり汚損した場合は速やかに購入のうえ、正しく貼付してください。



警告ラベル貼付位置

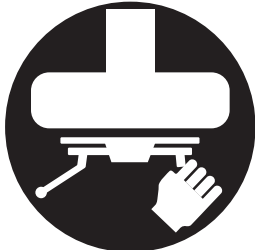
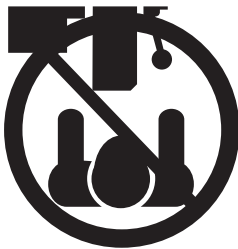
警 告	
回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないこと。 巻き込まれて大ケガをする恐れがあります。	回転中はホイールガードを開けないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
ホイールはゆるまないよう確実に取り付けること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。 誤操作により思わぬ事故の可能性があります。	ここに示す警告事項は、ホイールバルンサーの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。
巻き込まれ防止のため、タイヤカバーを必ず設置し取り外さないで下さい。	

警告ラベル貼付位置



警告ラベル内容

※下記警告ラベルが本体に貼付されています

 警 告	
 回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないうこと。 巻き込まれて大ケガをする恐れがあります。	 回転中はホイールガードを開けないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 ホイールはゆるまないよう確実に取り付けること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	 ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること。 誤操作により思わぬ事故の可能性が あります。	ここに示す警告事項は、ホイールバルンサーの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付してください。
巻き込まれ防止のため、タイヤカバーを必ず設置し 取り外さないで下さい。	

(2)危険・注意事項



注 意

- (1) 操作に当たっては作業服、安全靴を身につけ安全な作業を行って下さい。
- (2) 回転中に振動や異常音、変形回転が発生したら、ホイールガードを開けずにストップスイッチを押し、直ちに停止させて下さい。
- (3) センター軸が緩んでくるとホイールのセンターリングが不完全となり誤差の原因となります。時々確認して下さい。
- (4) ウェイトはしっかりと指定場所に取り付けて下さい。
- (5) タイヤについているゴミ、小石等は全て取り除いて下さい。
- (6) スタートスイッチを押す前に、必ずホイールガードをセットして下さい。
- (7) 落雷時には電源を必ず切って下さい。異常電圧の発生で本体内部の電子部品を壊す恐れがあります。
- (8) 本機を清掃する場合は、水洗いを絶対にしないで下さい。
- (9) 本機を移動する場合は、主軸を持って移動したり主軸に衝撃を与えないで下さい。



危 険

電気部品に触れる必要の場合は必ず元電源を切って下さい。
元電源を入れたまま電気部品に触れる必要のある時には端子等、通電部品に絶対触れないようにして下さい。
※死亡又は重傷の可能性あります。



(3)一般的な注意事項

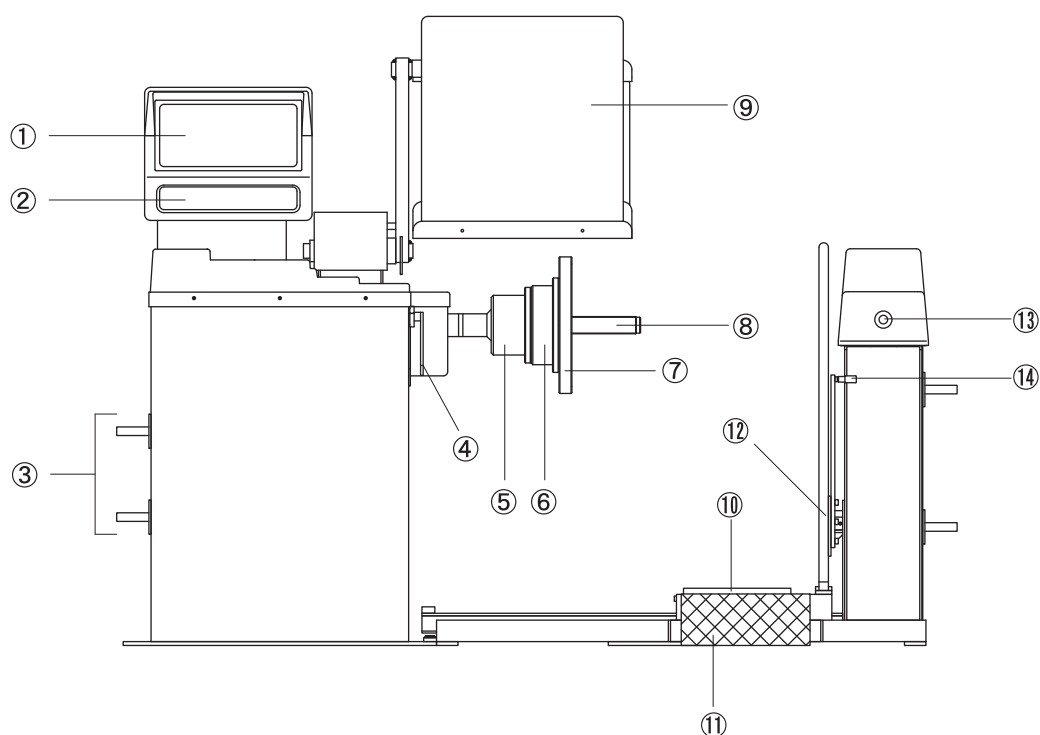
- ①取扱説明書をよく読みよく理解してから使用して下さい。
- ②このホイールバランサーは使用方法を熟知した人以外は使用しないで下さい。
- ③始業点検及び定期点検は取扱説明書の本文に従って必ず実施して下さい。
- ④運転時に異常な状態の時は、ホイールバランサーの使用を禁止して電源を切り、お買い上げの販売店に連絡して下さい。
- ⑤本機は防水仕様になっていませんので、屋外設置や水による洗浄は避けて下さい。
- ⑥このホイールバランサーはタイヤ・ホイールのバランス測定以外には使用しないで下さい。

(4)設置上の注意

- ①本機の据付は平坦なコンクリート上に標準付属品のアンカーボルトでしっかりと固定して使用して下さい。アンカーボルトでの固定を怠ると本機の転倒防止としては勿論のこと、タイヤのアンバランス以外の振動をキャッチすることになり、正確な測定結果が得られません。
- ②本機内部には多くの電気部品を使用しており、水気は故障の原因となります。
本機の設置場所は下記のところは絶対に避けて下さい。
 - ・雨水のかかる場所
 - ・水をよく使い湿気の多い場所
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・特にほこりの多い場所
 - ・振動の多い場所
- ③本機を移動する場合は主軸を持って移動したり、主軸に衝撃を与えないで下さい。
- ④設置の際に感電事故の防止のために必ずアース設置を施して下さい。
尚、ガス管などの爆発の危険があるものには絶対に接続しないで下さい。
- ⑤3相200Vの配線工事は必ず動力工事有資格店にご依頼下さい。
電源は本機の近くに、必ず1.5kW以上の専用ブレーカを設置して、そこから配線して下さい。
又、本機の回転方向はウエイトカバーの矢印方向にして下さい。

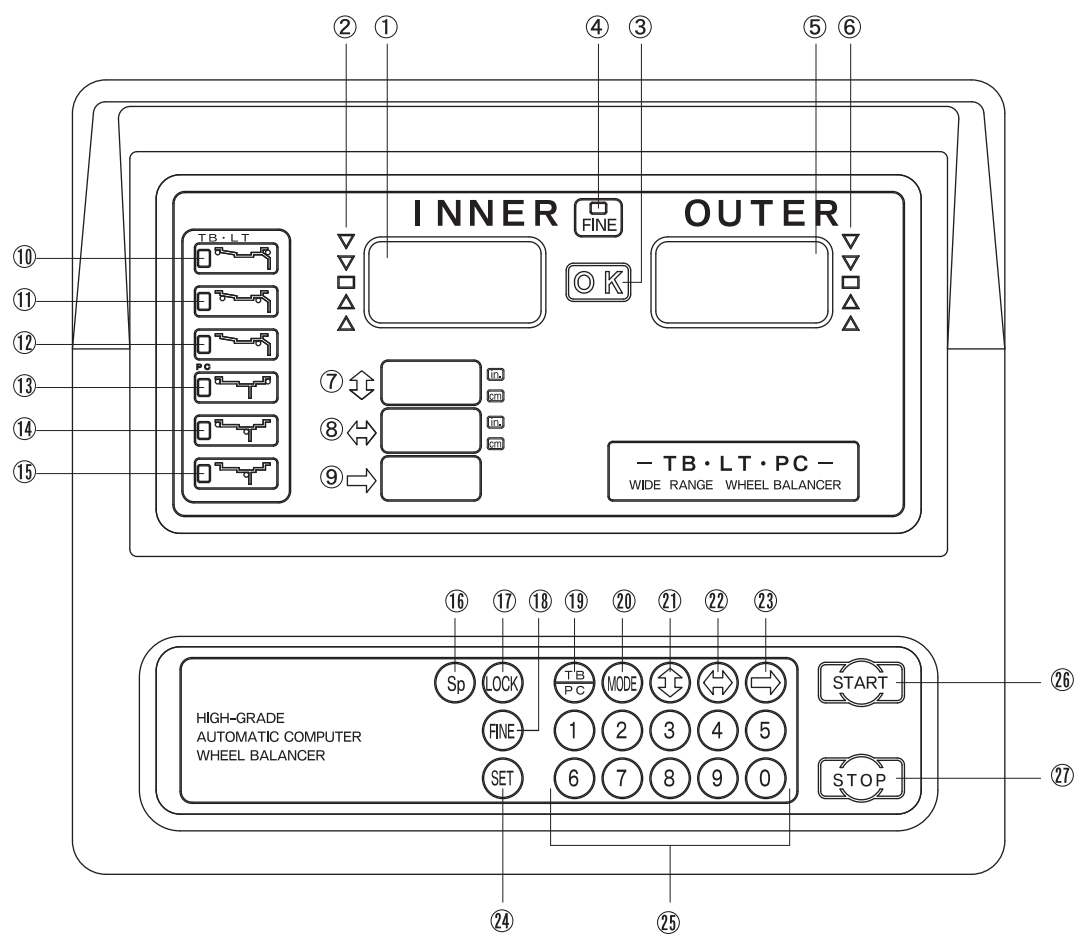
4. 各部の名称と機能

(1) 各部の名称



- ①表示パネル
- ②操作パネル
- ③パーツハンガー
- ④ディスタンススケール
- ⑤主軸
- ⑥LTスパーサー
- ⑦TBスパーサー
- ⑧センター軸
- ⑨ホイールガード
- ⑩リフト上昇台
- ⑪シューター
- ⑫タイヤ台ロック
- ⑬リフト操作スイッチ
- ⑭ロック解除レバー

(2) 操作部の名称



- | | | |
|---------------|-----------------|---------------|
| ① イン側グラム表示 | ⑩ TB・LT両面打込モード | ⑬ TB/PC切替スイッチ |
| ② イン側ポジション表示 | ⑪ TB・LTアルミモード | ⑭ モードスイッチ |
| ③ OK表示 | ⑫ TB・LTスタチックモード | ⑮ リム径スイッチ |
| ④ ファインモード | ⑬ PC両面打込モード | ⑯ リム幅スイッチ |
| ⑤ アウト側グラム表示 | ⑭ PCアルミモード | ⑰ ディスタンススイッチ |
| ⑥ アウト側ポジション表示 | ⑮ PCスタチックモード | ⑱ セットスイッチ |
| ⑦ リム径表示 | ⑯ Spスイッチ | ⑲ 数値スイッチ |
| ⑧ リム幅表示 | ⑰ ロックスイッチ | ⑳ スタートスイッチ |
| ⑨ ディスタンス表示 | ⑱ ファインスイッチ | ㉑ ストップスイッチ |

5.操作手順

(1)ホイールの装着手順

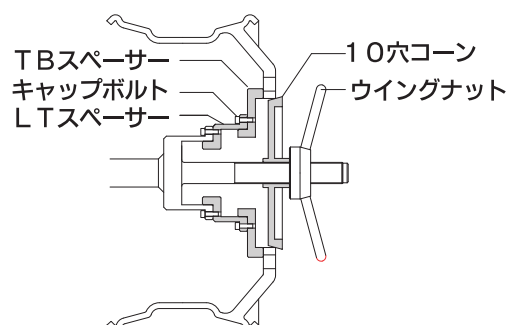


注 意

測定ホイールはいずれの場合も、古いバランスウエイト、タイヤの溝にはさまっている小石や異物を全て取り除いてください。
ハメ合い部とあたり面はゴミ・砂などが付着していないことを確認したあと、次のように正しく取り付けてください。

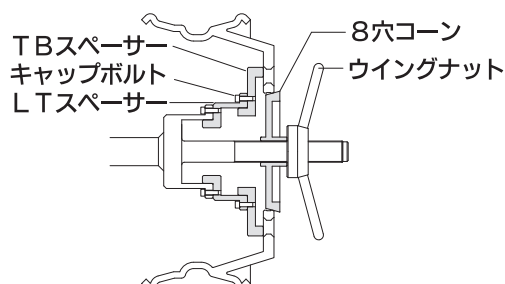
(A)10穴ホイールの場合

主軸にLTスペーサーをキャップボルトで固定します。
LTスペーサーにTBスペーサーをキャップボルトで固定します。
測定する10穴ホイールを10穴コーンとウイングナットで固定します。



(B)8穴ホイールの場合

主軸にLTスペーサーをキャップボルトで固定します。
LTスペーサーにTBスペーサーをキャップボルトで固定します。
測定する8穴ホイールを8穴コーンとウイングナットで固定します。



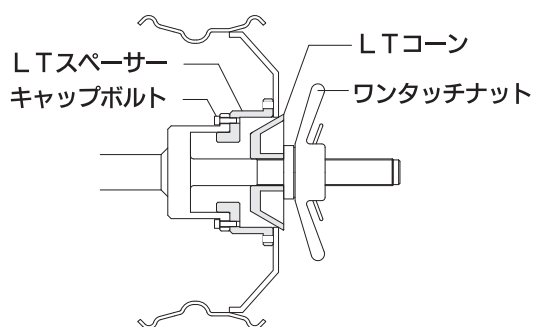
注 意

10穴ホイールと8穴ホイールを装着する場合は、必ずウイングナットで固定して下さい。
ワンタッチナットで固定すると、回転中ナットが緩む恐れがありますので、ワンタッチナットは使用しないで下さい。

(C) LTホイールの場合

主軸にLTスペーサーをキャップボルトで固定します。

測定するLTホイールをLTコーンとワンタッチナットで固定します。



(D) PCホイールの場合

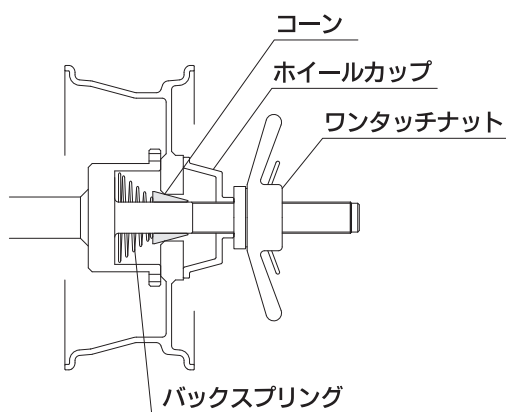
(1) バックコーンとして使用する場合

図①のようにセンター軸にバックスプリングとホイールのハブ穴に合ったコーンを入れホイールをコーンの上にのせます。次にホイールカップとカラーをはめ、ワンタッチナットで締めつけます。この時コーンが奥まで入り込むような場合はバックコーンとスプリングの間に、一番短いカラーを入れて使用して下さい。(バネの収縮が少ないので、カラーを入れて収縮を大きくして、コーンによるセンター出しを正確にします)

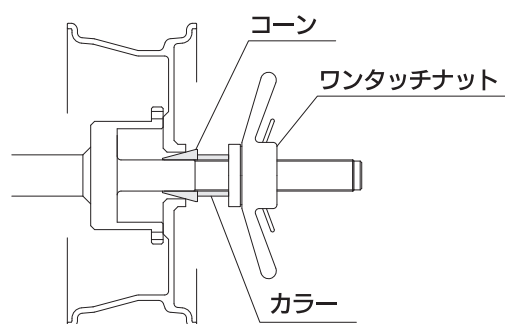
(2) フロントコーンとして使用する場合

図②のようにハブ穴に適したコーンと、カラーを用いてワンタッチナットでホイールを締めつけます。

【①バックコーンの場合】



【②フロントコーンの場合】



注 意

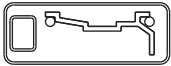
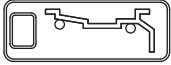
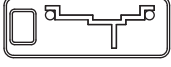
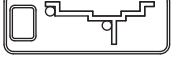
ワンタッチナットを緩めてホイールを外すときは必ず最初に少しワンタッチナットを緩めてからレバーを握って外して下さい。
緩めなくてレバーを握るとワンタッチナット・センター軸を損傷させる恐れがあります。

(2)測定モードの切り替え



スイッチを押すと、TB・LTモードとPCモードに切り替わります。

各モード内で  スwitchを押すと①―②―③―①の順にモードが選択されます。

- | | | |
|---|---|----------------|
| | TB・LT | |
| ① |  | TB・LT 両面打込モード |
| ② |  | TB・LT アルミモード |
| ③ |  | TB・LT スタチックモード |
| | PC | |
| ① |  | PC 両面打込モード |
| ② |  | PC アルミモード |
| ③ |  | PC スタチックモード |



注 意

TB・LTモードとPCモードでは測定回転数が異なります。
タイヤ・ホイールに応じたモードを選択しなければ、正確なバランス測定は行えません。

(3) データーの入力方法

データーの入力方法はT B・L TモードとP Cモードは同じ入力方法です。

A. 両面打込の場合

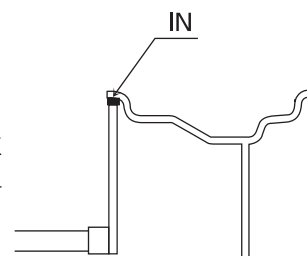
MODE を両面打込モードにしてください。



A-1. ディスタンス・リム径の自動入力の場合

スケールのヘッドを内側のI N側打ち込み位置に当てます。ピーという音と共にディスタンスとリム径が入力されます。なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合は一度スケールを戻してから再度入力をやり直して下さい。(約1秒間停止しているとセットされます)

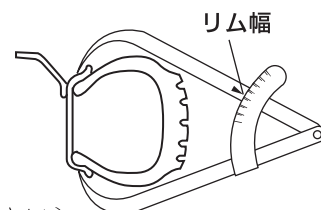
入力後、スケールは確実に元に戻して下さい。戻ってなければ表示部に【E-E】と表示してスタートしません。



修正面幅の入力

タイヤパスを図のように、イン・アウト両側のリムに当てゲージの幅を読みとり、スイッチを押して読み取った値を入力します。

(例えばリム幅が4.5 Jならば  **4** **5**  と押して下さい)



A-2. 手動入力の場合

1. リム径の入力

スイッチを押して、ホイールに明記されているサイズを手動で入力します。

2. ディスタンスの入力

スケールのヘッドからI N側打ち込み位置までを定規で測定し、スイッチを押して定規で測った値をcmで入力して下さい。

(例えばディスタンスが10.5 cmならば  **1** **0** **5**  と押して下さい)

B. アルミの貼付—貼付の場合

MODE をアルミモードにしてください。

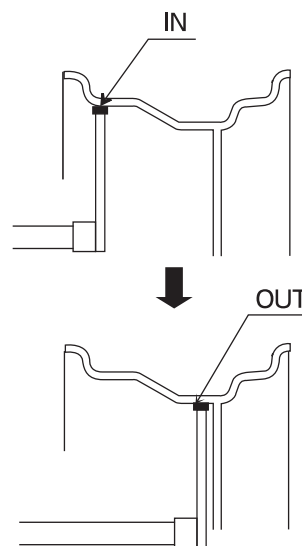


B-1. スケール自動入力の場合

スケールのヘッドを内側の I N 側貼付け位置の中心に当てます。ピーという音と共にディスタンスとリム径が入力されます。なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合は一度スケールを戻し **STOP** ボタンを押してから再度入力をやり直して下さい。(約 1 秒間停止しているとセットされます) I N 側にセットされたら、次にそのまま O U T 側の貼付け位置の中心にスケールを伸ばし、ヘッドの中心を当て修正面幅を入力させます。

入力後、スケールは確実に元に戻して下さい。戻ってなければ表示部に【E-E】と表示してスタートしません

PCモード時 O U T 側ホイールの内径が小さくスケールが伸ばせない場合は別記 **アルミ簡易入力切替** で入力して下さい。



注 意

ホイールが深くスケールが O U T 側入力位置まで十分に届かない時は、届くところまでスケールを引き出し、入力後スケールを戻し、修正面幅を定規で測り、

⬅️ スイッチを押して定規で測った値を cm で入力して下さい。

(例えば修正面幅が 1 4.5 cm ならば ⬅️ 1 4 5 SET と押して下さい)

B-2. 手動入力の場合

1. リム径の入力

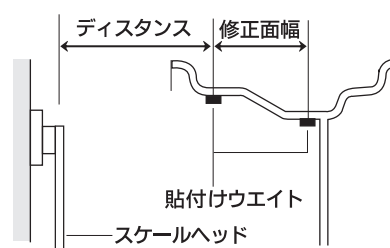
⬅️ スイッチを押して、ホイールに明記されているサイズを手動で入力します。

2. 修正面幅の入力

図のように I N 側のウエイト貼付け位置から O U T 側のウエイト貼付け位置までの修正面幅を定規で測定し ⬅️ スイッチを押して定規で測った値を cm で入力して下さい。

(例えば修正面幅が 1 4.5 cm ならば

⬅️ 1 4 5 SET と押して下さい)



3. ディスタンスの入力

スケールのヘッドから I N 側貼付け位置までを定規で測定し ⬅️ スイッチを押して定規で測った値を cm で入力して下さい。

(例えばディスタンスが 1 0.5 cm ならば ⬅️ 1 0 5 SET と押して下さい)

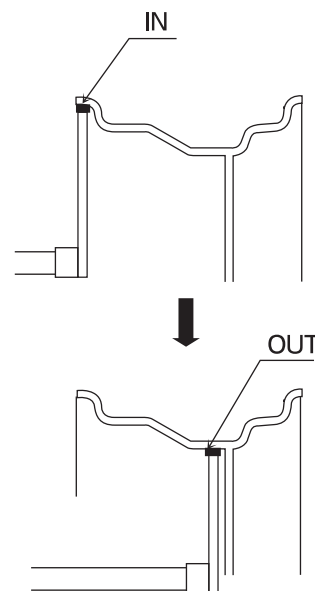
C. アルミの打込一貼付の場合

MODE をアルミモードにしてください。



C-1. スケール自動入力の場合

スケールのヘッドを内側の I N 側打込み位置に当てます。ピーという音と共にディスタンスとリム径が入力されます。なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合は一度スケールを戻し **STOP** ボタンを押してから再度入力をやり直して下さい。(約1秒間停止しているとセットされます) I N 側にセットされたら、次にそのまま O U T 側の貼付け位置の中心にスケールを伸ばし、ヘッドの中心を当て修正面幅を入力させます。入力後、スケールは確実に元に戻して下さい。戻ってなければ表示部に【E-E】と表示してスタートしません



P C モード時 O U T 側ホイールの内径が小さくスケールが伸ばせない場合は別記 **アルミ簡易入力切替** で入力して下さい。



注 意

ホイールが深くスケールが O U T 側入力位置まで十分に届かない時は、届くところまでスケールを引き出し、入力後スケールを戻し、修正面幅を定規で測り、 スイッチを押して定規で測った値を cm で入力して下さい。
(例えば修正面幅が 1 4.5 cm ならば  1 4 5  と押して下さい)

C-2. 手動入力の場合

1. リム径の入力

 スイッチを押して、ホイールに明記されているサイズを手動で入力します。

2. 修正面幅の入力

図のように I N 側のウエイト打込み位置から O U T 側のウエイト貼付け位置までの修正面幅を定規で測定し  スイッチを押して定規で測った値を cm で入力して下さい。

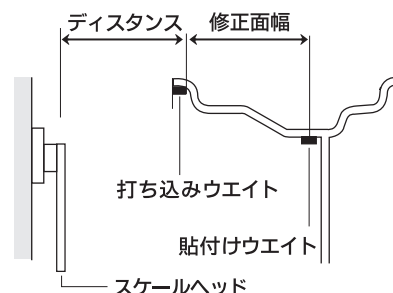
(例えば修正面幅が 1 4.5 cm ならば

 1 4 5  と押して下さい)

3. ディスタンスの入力

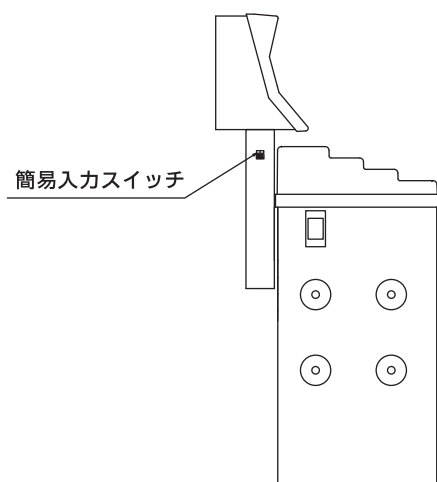
スケールのヘッドから I N 側打込み位置までを定規で測定し  スイッチを押して定規で測った値を cm で入力して下さい。

(例えばディスタンスが 1 0.5 cm ならば  1 0 5  と押して下さい)



アルミ簡易入力切替 について

PCモード時アルミモードでスケール自動入力でIN側入力した後、OUT側へ伸ばしてもホイール内径が小さく奥まで伸ばせない時は、その場で一旦仮入力をさせて下さい。
支柱側面の簡易入力スイッチを【ON】にします。



＜簡易入力のデータ入力方法＞

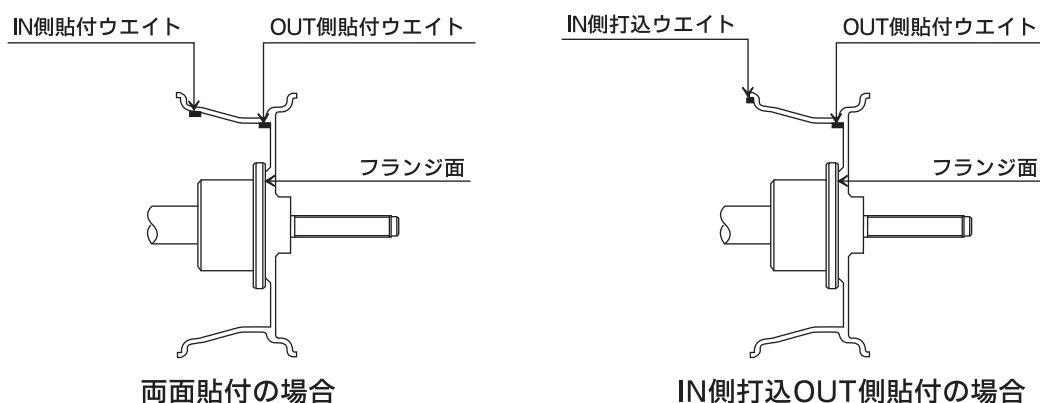
スケールのヘッドをIN側の貼付位置又は打込位置に当てます。

ピーという音と共にディスタンスとリム径と修正面幅が入力されます。

IN側スケール入力後、スケールを確実に元に戻してください。

OUT側の貼付位置はフランジ面の位置で固定となります。

従って、バランス測定後OUT側にウェイトを取り付ける位置は、ウェイト中心がフランジ面になる位置に取り付けてください。



簡易入力スイッチを【OFF】にすると、スケール自動入力に変わります。

電源を再投入しても、アルミの入力方法は簡易入力スイッチの【ON／OFF】状態に依存されます。

D. スタチックモードの場合

MODE をスタチックモードにしてください。



リム径の入力

スケールのヘッドをウエイト取付位置に当てます。

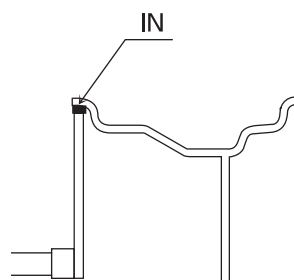
打込ホイールならホイール耳部、貼付ホイールなら貼付部にスケールヘッドを当てます。

ピーという音と共にディスタンスとリム径が入力されます。

なお、ヘッドがリムに当たらない場合でも動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合は一度スケールを戻してから再度入力をやり直して下さい。（約1秒間停止しているとセットされます）

入力後、スケールは確実に元に戻して下さい。戻ってなければIN側に【E-E】と表示してスタートしません。

スタチックではリム径のみ入力するだけで結構です。



(4)測定

- ①タイヤ・ホイールを固定します。
- ②測定モードを選択します。
- ③ホイールデーターを正しく入力します。
- ④STARTスイッチを2回続けて押すと、ホイールは回転します。測定が終わるとアンバランス量が表示されて自動停止します。
- ⑤バランスを取る最初の側を選択します。ポジション表示の位置に従いホイールを手で回し、ウエイト取付位置にいくとグラムが点滅します。
点滅位置でのホイールの真上（12時の位置）にウエイトを取り付けます。
- ⑥反対側も同様の作業を行います。
- ⑦両方のウエイトを取り付け終わったら、再度測定して000・000表示しOK表示が点滅したら終了です。

(5)再演算機能

ホイールデーターを間違えて入力して測定した場合、再度タイヤを回して測定しなくても再演算機能を使えば正しいグラム・位相を求める事ができます。

測定終了後、正しいホイールデーターを入力して下さい。正しいグラム・位相の表示になります

(6)ロック／解除の方法

スイッチを押すことにより、アンバランス位置でロックされます。

ロックするのは約20秒間ロックして、その後解除されます。また、ロック中 にスイッチを押すとロック解除します

(7)FINEモード

電源を入れたときのグラム表示はTB・LTモードの場合50 g単位、PCモードの場合5 g単位になっています。

スイッチを押すと、TB・LTモードの場合5 g単位、PCモードの場合1 g単位に変わります。再度 スイッチを押すと、電源投入時の状態になります。

6.標準付属品・オプション部品

●標準付属品

- ①10穴コーン
- ②8穴コーン
- ③ウイングナット
- ④タイヤパス
- ⑤ウェイトプライヤー
- ⑥アンカーボルト
- ⑦リフト固定ボルト（2本）
- ⑧締め付けレンチ
- ⑨取扱説明書
- ⑩保証書

●オプション部品

- ①LTコーン
- ②PCセット
【コーン(S・M・L・LL)・カップ・バックスプリング・カラー(C1・C2)
タイヤパス・ワンタッチナット)】
- ③ワンタッチナット
- ④タイヤガード

7.定期点検

(1)定期点検

期 間	点 検 箇 所	点 検 項 目	点 検 要 領
3 ヶ月毎	先端軸	緩み	増し締めをする

(2)消耗品

次の部品は使用頻度(損傷・磨耗状態)により新品と交換してください。

品 名	部 品 番 号	販 売 単 位	備 考
カップのゴム		1	1 / 1 台
ベルト 480J12		1	1 / 1 台

8.故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度確認してください。

異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不都合がある場合は弊社、もしくはお買上げ販売店に御相談ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	お客様のブレーカのヒューズが切れている	ヒューズを交換する
電源が入るけれどもホイールが回転しない	お客様のブレーカのヒューズのうち1本が切れている	ヒューズを交換する
他のホイールのバランスは修正出来るけれどもそのホイールだけが修正出来ない	タイヤの中に異物、水などが入っている	異物、水などを取り除く
【E-E】と表示する	スケールが出ている	スケールを最後まで戻す

その他の症状について

(1) バランスの修正ミス

(イン・アウトの修正位置が逆になっているとか修正位置が間違っていないか)

(2) 1回でOKしない場合

アンバランス量が大きい場合(50gを越えるような場合)

若干の測定誤差とウェイト量の誤差、及びウェイトの打ち込み位置のそれによって1回でOKしない場合が出てきます。故障ではありません。

(1) 自己校正

- 自己校正はバランス修正が日常の使用でタイヤ・ホイールバランスが良好でない時に実施してください。
- TB・LTモードとPCモードを別々に行ってください。

TB・LTモード 操作手順

- ①TBホイールをバランサーに取り付けてください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【P-】とでたらスタートスイッチを離して下さい。
- ③リム径入力スイッチ () を押して下さい。IN側表示が【P-1】となります。
- ④TB/PC切替スイッチでTB・LTモードにします。
通常の測定と同じようにディスタンス、ホイール径、ホイール幅を入力して下さい。
- ⑤スタートスイッチを押してホイールを回転させてください。回転が止まったらIN側表示に【150】と表示されます。通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に150gウェイト1個を取付けてください。ウェイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
- ⑥回転が止まったらOUT側表示に【150】と表示されます。IN側の150gウェイト1個を取り外して、通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に150gウェイト1個を取付けてください。ウェイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
回転が止まったら自己校正は完了です。
(操作が間違っていなければバランサーの精度は正確に校正されます。)



注 意

OUT側に150gを取り付ける時は正確に取り付けて下さい、

PCモード 操作手順

- ①PCホイールのスチールホイールをバランサーに取り付けてください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【P-】とでたらスタートスイッチを離して下さい。
- ③リム径入力スイッチ () を押して下さい。IN側表示が【P-1】となります。
- ④TB/PC切替スイッチでPCモードにします。
通常の測定と同じようにディスタンス、ホイール径、ホイール幅を入力して下さい。
- ⑤スタートスイッチを押してホイールを回転させてください。回転が止まったらIN側表示に【100】と表示されます。通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に50gウェイト2個を取付けてください。ウェイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。
- ⑥回転が止まったらOUT側表示に【100】と表示されます。IN側の50gウェイト2個

を取り外して、通常のアンバランス修正と同じ様に指定された場所に50 g ウェイト2個を取付けてください。ウェイトを取付け終わったらスタートスイッチを押してホイールを回転させてください。

回転が止まったら自己較正は完了です。

(操作が間違っていなければバランスの精度は正確に較正されます。)



注 意

OUT側に100gを取り付ける時は正確に取り付けて下さい、

(2) 軸アンバランス較正

- ホイールなど何も付けずにバランスを回転させて測定したときにアンバランスが表示される時は取付け誤差の原因となりますので次の方法で修正して下さい。
- TB・LTモードとPCモードを別々に行ってください。

TB・LTモード操作手順

- ①バランスにはホイール・タイヤなど、何も取り付けないでください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【P-】とでたらスタートスイッチを離して下さい。
- ③リム幅入力スイッチ () を押して下さい。IN側表示が【P-2】となります。
- ④TB/PC切替スイッチでTB・LTモードにします。
- ⑤OUT側表示が【001】と表示されます。
スタートスイッチを押して回転させて下さい。
回転が停止したら、OUT側表示が【002】と表示されます。
- ⑥再度スタートスイッチを押して回転させて下さい。回転が停止したら軸アンバランス較正は完了です。

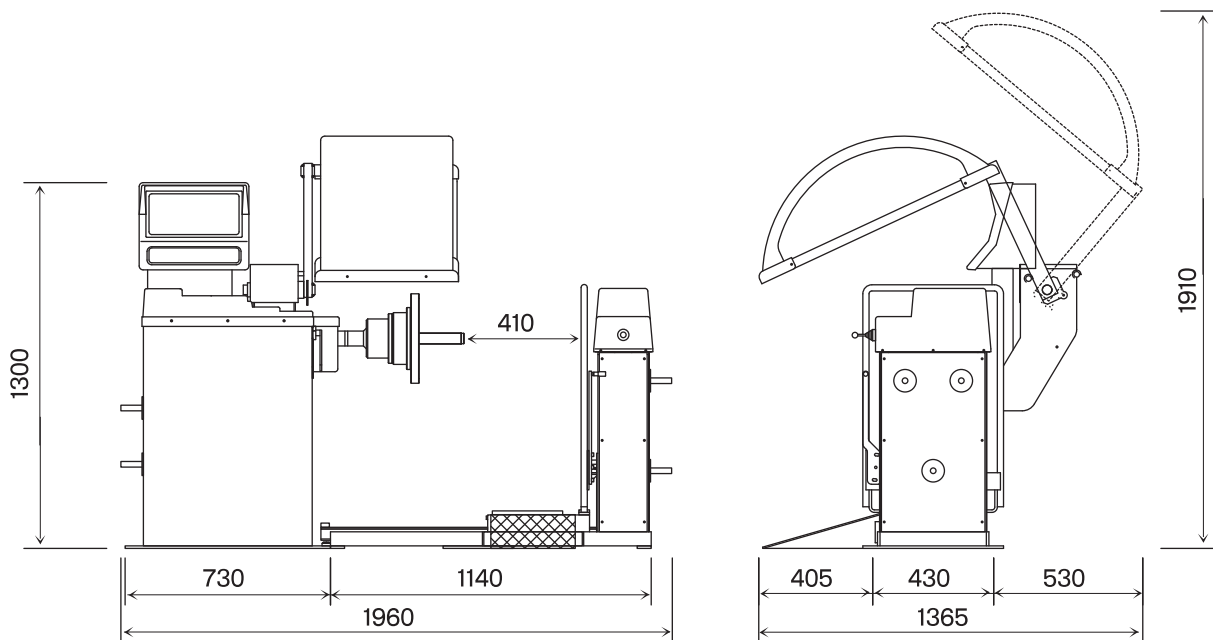
PCモード操作手順

- ①バランスにはホイール・タイヤなど、何も取り付けないでください。
- ②スタートスイッチを押しながら電源スイッチを押して電源をいれてください。
IN側表示が【P-】とでたらスタートスイッチを離して下さい。
- ③リム幅入力スイッチ () を押して下さい。IN側表示が【P-2】となります。
- ④TB/PC切替スイッチでPCモードにします。
OUT側表示が【001】と表示されます。
スタートスイッチを押して回転させて下さい。
- ⑤回転が停止したら、OUT側表示が【002】と表示されます。
- ⑥再度スタートスイッチを押して回転させて下さい。回転が停止したら軸アンバランス較正は完了です。

9.仕様

型 式	DX-TB I
電 源	3相 200V
モ ー タ ー	バルンサー:0.75kW4P-0.38kW8P 極数変換 リフト：0.09kW
測 定 回 転 数	TB・LTモード：約180rpm (50/60Hz) P Cモード：約360rpm (50/60Hz)
測 定 方 式	ハードタイプ両面同時測定
適 応 リ ム 径	2" ～30"
適 応 リ ム 幅	2" ～20"
自動入力システム	リム径・リム幅(アルミ)・ディスタンス 12"～26"
最 大 測 定 重 量	150kg
最 大 タ イ ヤ 外 径	1200mm
測 定 範 囲 g	0～500g
本 体 重 量	バルンサー：約210kg リフト：約120kg

ブレーカー容量：20A(3相200V)



10. 製品保証規定

(1) 保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後1年以内）に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し二次的に発生する損失の補償及び、次の場合に該当する故障は保証はいたしません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合（例：型式及び機体番号の連絡が無い場合 etc）。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

**このホイール balanser は屋外設置及び防水仕様にはなっておりませんので、
錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしておりません。**

(2) 保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上の販売会社にご一報下さい。
必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承下さい。

(3)アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の8項の故障と処置欄をご覧ください。
それでも調子の悪いときは	商品保証規定に従い修理をさせていただきますのでお買上販売会社へ修理を依頼して下さい。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買上販売会社にご相談下さい。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上販売会社にお問い合わせ下さい。	
お問い合わせいただく際は、次のことをお知らせ下さい。 型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。	

上記の事項を下表に記録しておくとお問い合わせの時便利です。

型 式	
機 体 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日
販 売 会 社	社名 担当者
	住所 電 話
設 置 業 者	社名 担当者
	住所 電 話
故 障 日 ・ 状 況	年 月 日
	年 月 日

(4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上販売会社へ依頼して下さい。

移設の場合は販売会社による点検を実施して下さい。

取扱説明書

品 名 ホイール balans ー

型 式 **DYNAMAX-TB I**

初 版 発 行 月 日	平 成 2 3 年 7 月 1 日
-------------	-------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 2 6 年 8 月 1 日
-------------	-------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	--------------------------

改 訂 発 行 月 日	平 成 年 月 日
-------------	--------------------------

編 集 兼 発 行 者	機 工 技 術 部
-------------	-----------

発 行	小 野 谷 機 工 株 式 会 社
--------------------------	-------------------

無断複写・掲載を禁ず

ONODANI 小野谷機工株式会社

本社／福井県越前市家久町63-1 ☎(0778)22-2124(代)

営業所／札幌	☎(011)791-8588	名古屋	☎(052)354-1021
仙台	☎(022)255-7408	大阪	☎(06)6701-7315
秋田	☎(018)800-2556	福井	☎(0778)21-0335
東京	☎(03)5970-6011	広島	☎(082)943-8455
新潟	☎(025)281-8251	福岡	☎(092)582-6743

「販売会社又は施工業者の方へお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。